

# 平成24年度補正予算

法務省

## 復興・防災対策

19,319 百万円

- ・ 震災等に備えた法務省施設の整備  
老朽化した法務省施設の建替え・改修等

## 成長による富の創出

589 百万円

- ・ 観光立国推進のための出入国審査の迅速化  
出入国審査機器の増配備等

## 暮らしの安心

2,961 百万円

- ・ 矯正施設等の警備・防災体制の強化  
矯正施設の警備システムの更新等

合 計 22,869 百万円

# 震災等に備えた法務省施設の整備

## 現 状

### 耐震性能の低下

- ・ 極度の老朽化
- ・ 耐震基準に適合していない建物が多数
- ・ 刑務所過剰収容対策の影響により、老朽建替えが遅延
- ・ 多数の改築工事が継続中

### 防災設備等の不備

- ・ 耐用年数を経過した防災設備が多数あり、故障、誤作動が頻繁に発生
- ・ 少年院等に自家発電設備が整備されておらず、非常時の電源確保が不可能な状態
- ・ 外塀等の機能不備



[拘置所外壁]



[宿舎]



[自家発電設備]



[外塀]

## 問題点

大規模災害等緊急事態の発生による

- ・ 矯正施設の被収容者及び職員の生命・身体への被害
- ・ 検察庁、法務局等を来訪中の一般国民(犯罪被害者、登記申請者等)及び職員の生命・身体への被害

施設の倒壊・損壊等による業務継続の不能・困難化

矯正施設⇒受刑者の逃走等重大な事故の発生

検察庁⇒犯罪捜査等に支障

法務局⇒不動産取引等を阻害

我が国の治安又は国民の生命・身体・財産等を害する結果を招く

## 対 策

予防保全としての観点をも踏まえ、

- ・ 耐震性能の低い矯正施設等の建替え 大阪拘置所ほか45庁
- ・ 防災設備等の整備・改修 282か所

## 効 果

耐震対策	99億円
防災設備等	94億円
計	193億円

治安維持と災害に強い社会の実現  
国民生活の安心と安全の確保

# 観光立国推進のための出入国審査の迅速化

## 施策の概要

全国の空海港の整備に伴って審査機器等の整備を行うことにより、訪日外国人旅行者の出入国審査の厳格化を維持しつつも円滑化・迅速化を図る。

予算額計

589百万円



## 出入国審査機器の増配備

(予算額:456百万円)

### ○ 大型クルーズ船への対応

- ・ 大型クルーズ船の増加等に対応するため、出入国審査機器57式を増配備。
- ・ 配備先:博多港及び長崎港



### ○ 成田空港ビジネスジェット専用ターミナル

ビジネスジェット専用ターミナルの開設に伴う出入国審査機器3式の増配備。



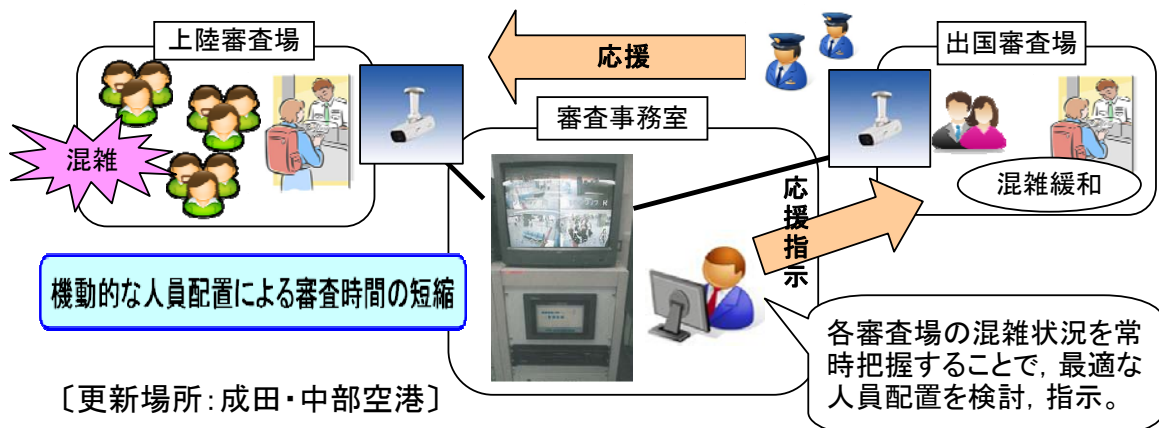
### ○ パスポートリーダーの増設

- ・ パスポート情報を読み取るパスポートリーダーの不足分69台を増配備。
- ・ 配備先:成田空港など12空海港



## 出入国審査場モニタリングシステムの更新

(予算額:133百万円)



## 効果

訪日外国人旅行者による経済波及効果、新規雇用拡大の下支え効果に寄与。

# 矯正施設等の警備・防災体制の強化

## 各種警備システムの更新等

監視カメラ等警備機器  
 <24時間365日稼動>

暴行・器物損壊の事故事例



同僚から暴行を受け、傷害を負ったもの

職員傷害事例



負傷した職員

<保安警備上重要な役割>

受刑者の逃走を未然に発見

職員襲撃等を瞬時に発見

受刑者の自殺等を未然に防止

老朽化に伴い稼動不良等発生

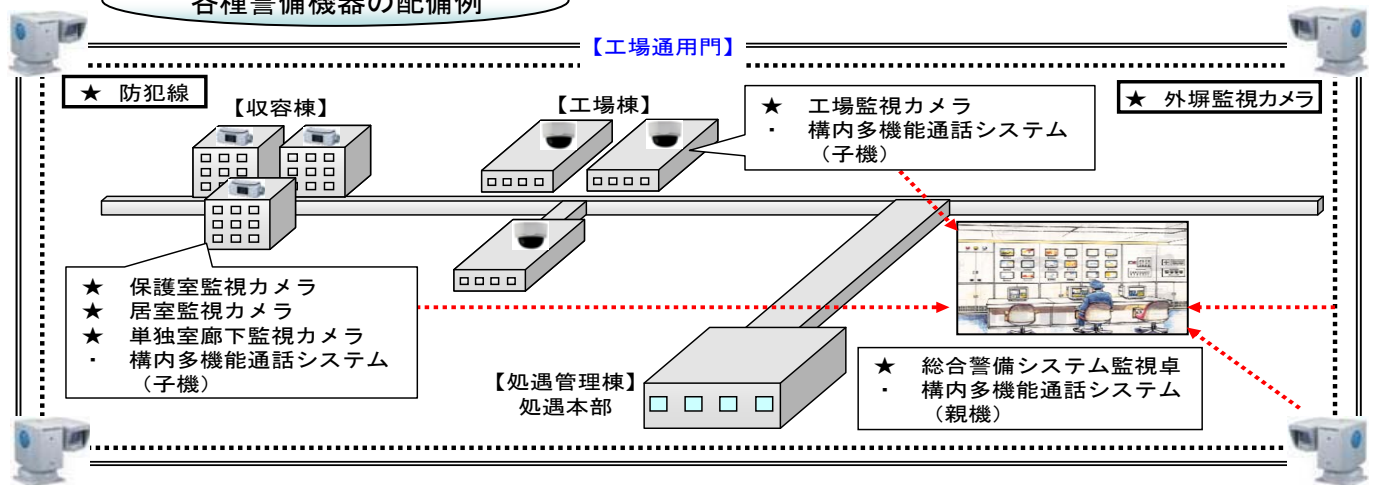


交換部品がない



映像が不鮮明

### 各種警備機器の配備例



東京拘置所警備機器等主幹システム

総合警備システム  
 (秋田刑務所ほか22施設)

構内多機能通話システム  
 (栃木刑務所ほか19施設)

少年矯正処遇の基盤整備  
 (松山学園ほか27施設)

## 防災機器の整備等

非常用発電装置蓄電池



非常時に発電装置を始動させ、電気を供給し、収容機能を確保

発電機



非常時に電気を供給し、電気機器等を稼動

大規模災害時においても、受刑者等の身柄を確保し、収容を継続

## 老朽化庁舎等の撤去



老朽不使用建物を速やかに撤去し、不審者の侵入や火災等を防止

老朽警備関連インフラを更新し、矯正施設等の警備・防災体制を強化  
 2,961百万円

矯正施設からの逃走等の事故を防止し、国民の暮らしの安心を確保